

『酪農の世界にとびこんで』
鳥海高原デリーイファーム



八幡 草津地区
今野 ひいろ

私は鳥海高原デリーイファームで酪農の仕事を始めてから一年が経ちます。元々、縫製会社で婦人服作りをしていましたが、学生時代の一日牧場体験で子牛にミルクをあげた時のことが忘れられず、思い切ってこの酪農の世界にとびこみました。

私の牧場での仕事は毎日牛の搾乳をしながら、牛の健康な成長をサポートすることです。

牛は毎日搾乳をしなければならず、牛の体には大きな負担がかかるため、病気になるたりしないよう、日々、ストレスの無い環境づくりを心がけています。それでも、時には具合の悪い牛に気づいてあげることができず、もともと早く牛

キラリな女性ひと

かがやく
女性農業者

の変化に気づくことであれば、もっと早く治療をしてあげられたのにと、自分の未熟さに悔しさを感じます。

牧場には様々な仕事があるのですが、その中でも私が好きな仕事は、牛の餌寄せです。牛が牛舎の柵から首を出して餌を食べている時、牛の首が届く範囲に餌が無くなると、食べやすいところへ餌を寄せてあげます。牛たちの美味しそうに餌を頬張る姿を眺めている時が、今の私にとって、心がほっこりさせられる、癒やしのひと時です。

まだまだ未熟な私ですが、これからは先輩に教わったことをしっかりと身につけて、もっと牛の変化に敏感になりたいです。あと、苦手な重機の操作も克服できるように頑張ります。

